

2023年度 第5回治験審査委員会
【会議の記録の概要】

<p>開催日時 開催場所 出席委員名 欠席委員名</p>	<p>2023年9月20日 15時30分～15時55分 病院3階中会議室 橋本 章司、片岡 葉子、鈴木 秀和、上田 佳世、飯尾 麗、松野 治、岡田 知子、井上 理恵、的場 美香、田中 義久、中芝 広輝、淵岡 聡、三田 博道 川平 洋一、田村 嘉孝、吉田 之範、金銅 葉子、田中 秀磨</p>
<p>議題及び審議結果を含む主な議論の概要</p>	<p>議題1. アストラゼネカ社の依頼による切除可能非小細胞肺癌患者に対する治療として、ネオアジュバント／アジュバント療法におけるデュルバルマブ投与を評価する第Ⅲ相試験</p> <p>引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果:承認</p> <p>・鈴木 秀和委員、上田 佳世委員は、当該試験に関与するため審議及び採決に不参加</p> <p>議題2. アツヴィ合同会社の依頼によるTelisotuzumab Vedotin(ABBV-399) の第Ⅲ相試験</p> <p>引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果:承認</p> <p>・鈴木 秀和委員は、当該試験に関与するため審議及び採決に不参加</p> <p>議題3. ONO-4538 非扁平上皮非小細胞肺癌に対する第Ⅲ相試験</p> <p>適格性の観点から審議した。 審議結果:承認</p> <p>・鈴木 秀和委員は、当該試験に関与するため審議及び採決に不参加</p> <p>議題4. 中外製薬株式会社の依頼による小細胞肺癌患者を対象とした R04876646とMPDL3280Aの第Ⅲ相試験</p> <p>引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果:承認</p> <p>議題5. 中外製薬株式会社の依頼による癌患者を対象としたアテゾリズマブの継続試験</p> <p>引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果:承認</p> <p>・鈴木 秀和委員は、当該試験に関与するため審議及び採決に不参加</p> <p>議題6. 日本イーライリリー株式会社の依頼による第Ⅰb/第Ⅲ相試験</p> <p>引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果:承認</p> <p>・鈴木 秀和委員は、当該試験に関与するため審議及び採決に不参加</p> <p>議題7. 治療抵抗性肺Mycobacterium avium Complex症患者を対象としてEpetraborole経口投与の有効性、安全性及び薬物動態を評価する第2/3相、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照、多施設共同 前向き試験(MACrO2)</p> <p>適格性の観点から審議した。 審議結果:承認</p> <p>議題8. コントロール不良な喘息を有する成人及び青年患者を対象に、ブデソニド+グリコピロニウム+ホルモテロールフマル酸塩の固定用量3剤配合剤の有効性及び安全性を評価する試験</p> <p>引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審議結果:承認</p> <p>・松野 治委員は、当該試験に関与するため審議及び採決に不参加</p>

議題9. 好酸球性多発血管炎性肉芽腫症における神経障害に対するGB-0998の有効性、安全性を検討する多施設共同オープン試験

引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果:承認

・松野 治委員は、当該試験に関与するため審議及び採決に不参加

議題10. コントロール不良な喘息を有する成人及び青年患者を対象に、ブデソニド+ホルモテロールフル塩酸水和物定量噴霧式吸入エアゾール剤の有効性及び安全性を評価する24週間の投与試験(VATHOS)

引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。

議題11. 小児喘息患者を対象にデュピルマブの長期安全性及び忍容性を評価する1年間試験

引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果:承認

議題12. 中等症から重症の青少年及び成人アトピー性皮膚炎患者におけるステロイド外用薬併用下のウパダシチニブの第Ⅲ相無作為化プラセボ対照二重盲検試験 A Phase 3 Randomized, Placebo Controlled, Double-Blind Study to Evaluate Upadacitinib in Combination with Topical Corticosteroids in Adolescent and Adult Subjects with Moderate to Severe Atopic Dermatitis

引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果:承認

議題13. A Phase 3b/4 Randomized, Open-label, Efficacy Assessor Blinded Study, Comparing the Safety and Assessor Blinded Efficacy of Upadacitinib to Dupilumab in Subjects with Moderate to Severe Atopic Dermatitis(Level-Up)中等症から重症のアトピー性皮膚炎患者を対象とした、ウパダシチニブとデュピルマブの安全性及び評価者盲検化有効性を比較する第Ⅲb/Ⅳ相、無作為化、非盲検、有効性評価者盲検化試験(Level Up試験)

引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果:承認

議題14. 協和キリン株式会社(治験国内管理人)の依頼によるアトピー性皮膚炎患者を対象としたAMG451単剤療法の第Ⅲ相試験

引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果:承認

・片岡 葉子委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題15. 協和キリン株式会社(治験国内管理人)の依頼による成人及び青少年アトピー性皮膚炎患者を対象としたAMG451の第Ⅲ相試験

引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果:承認

・片岡 葉子委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題16. アトピー性皮膚炎を有する日本人患者でのデュピルマブ試験

引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果:承認

・片岡 葉子委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題17. サノフィ株式会社の依頼によるアトピー性皮膚炎患者を対象としたKY1005の第Ⅱb相試験

引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果:承認

・片岡 葉子委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題18. アトピー性皮膚炎成人患者を対象としたamlitelimabの長期安全性及び有効性を検証する長期継続投与試験

引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果:承認

- ・片岡 葉子委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題19. 大鵬薬品工業株式会社の依頼によるTAS5315の前期第2相試験

終了報告

議題20. 日本イーライリリー株式会社の依頼による中等症から重症のアトピー性皮膚炎を対象としたレブリキズマブの第Ⅲ相試験

引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果:承認

- ・片岡 葉子委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題21. 日本イーライリリー株式会社の依頼による中等症から重症のアトピー性皮膚炎を対象としたレブリキズマブの第Ⅲ相試験

引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果:承認

- ・片岡 葉子委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題22. ファイザー株式会社の依頼によるアトピー性皮膚炎患者を対象としたPF-04965842の第Ⅲ相試験(長期投与)

引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果:承認

- ・片岡 葉子委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加

議題23. nemolizumabの乳幼児及び小児アトピー性皮膚炎患者を対象とした第Ⅲ相試験 —比較/長期継続投与試験—

引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果:承認

議題24. ファイザー株式会社の依頼による、ワクチンの接種を受けた母親から生まれた乳児を対象としたPF-06928316の第Ⅲ相試験

適格性の観点から審議した。
審議結果:承認

議題25. 健康被験者を対象としたサイトメガロウイルスに対するmRNAワクチンの有効性、安全性及び免疫原性を評価する試験

引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
審議結果:承認

【その他】

特記事項